

地域と大学 第39号

Newsletter No.39, Education Center for Regional Development

令和元年度社会教育主事講習実施報告

地域創造教育センター長 阿部 耕也

令和元年度静岡大学社会教育主事講習は、静岡・愛知・岐阜の3県から13名の受講生を迎え、無事全日程を終了しました。7月24日に始まった講習は、国立中央青少年交流の家、南伊豆町「らいずや」での2回の宿泊研修やふじのくに地球環境史ミュージアムの視察等をはさみながら、8月17日のグループワーク成果発表会で約4週間の長丁場が締めくくられました。

本学ではこれまで、教育学部にて昭和49年度から平成6年度まで13回の講習を実施し、平成9年度に生涯学習教育研究センターが設立されてからは同センターおよび後継組織が運営に携わり、平成10・11・15・20・23・27年度に講習を実施してきました。今回は地域創造教育センターが、使命である地域人材育成事業の一環として位置づけ、企画・実施しました。

社会教育主事講習は令和2年度からは新たなカリキュラムとなります。一部科目名も変更され、4科目9単位から4科目8単位となり、社会教育士の称号付与も行われます。変更のねらいは、社会教育主事が「人づくりや地域づくりに中核的な役割を担い」また「学習成果を広く社会における教育に生かす」ようになることとされ、旧課程最終年度の本学の講習もそうしたねらいを先取りしたプログラムとしました。

本学は平成25年度から「地域課題解決支援プロジェクト」で各地から課題を募り、学生・教職員がその地域に出かけて地元の方々とともに課題に取り組んでいますが、全42課題のうち18件は伊豆半島南部からの課題です。この地域の松崎町、東伊豆町、南伊豆町で地域づくりに取り組んでいる方々に講義を担当いただくとともに、最南端の地・南伊豆町で二泊三日の宿泊研修を行いました。

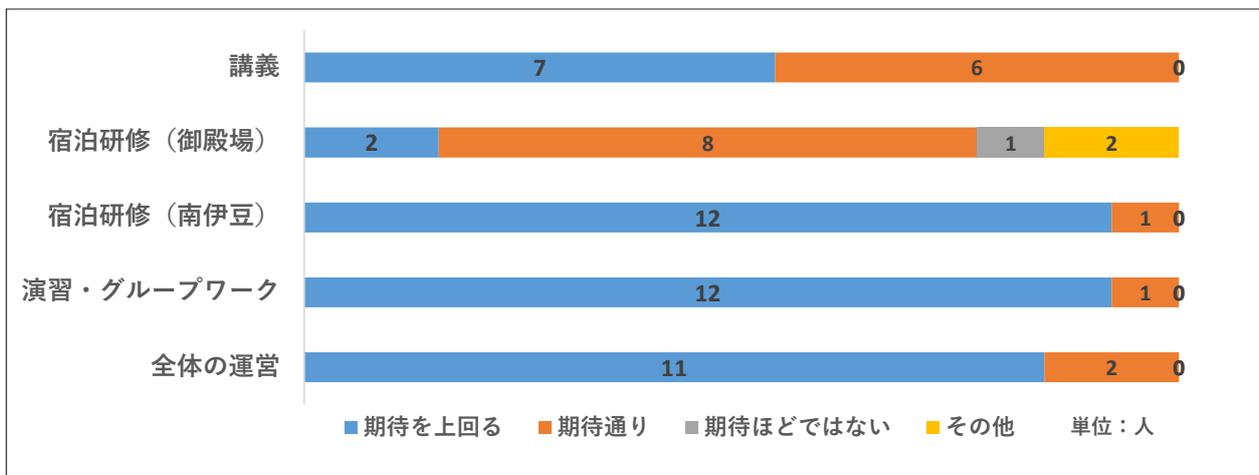
南伊豆町は、県内でも特に人口減少が進み、多くの課題を抱える一方、素晴らしい地域資源を有する地域です。宿泊場所となった「らいずや」自体も、廃業した旅館を地域活性化の拠点として再整備した施設で、ここを拠点に地元学を取り入れたプログラムや学生ファシリテーターによるフューチャーセッションを実施するなど、本学が有する教育・研究・地域連携活動の蓄積を生かした研修となりました。アンケート結果が示すように講習への満足度は全般的に高いですが、受講生の方々からは南伊豆町での宿泊研修ならびに演習・グループワークが特に高い支持を得ています。また「今回の講習が今後活かせるかどうか」という質問に対しても、「大いに活かせる(10人)」「活かせる(3人)」と、受講者全員に評価されています。

地域創造教育センターは、学生の教育プログラムである「地域創造学環部門」と地域との連携・協働の窓口を担う「地域人材育成・プロジェクト部門」の2部門からなり、地域課題に対し地域の方々と協働しながら解決をはかり、そのプロセスの中で学生・住民双方の地域人材育成を目指していますが、社会教育主事講習はその核となる事業だと考えています。



地域創造学環のフィールドワークや地域課題解決支援プロジェクトにおいても、実は講習の受講者OBが関わってくれています。講習のフォローアップも充実

させつつ、そうした地域人材を活用・支援し、さらにネットワークを拡げていきたいと考えています。



令和元年度社会教育主事講習受講者アンケート（抜粋）

■日程表

月/日	午前		午後			夜間	会場
	8:50~10:20	10:30~12:00	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40	19:00~20:30	
7月24日 (水)	開講式	オリエンテーション	[生涯学習概論] 生涯学習の意義 (阿部耕也)				静岡市産学交流センター7階大会議室
7月25日 (木)	[生涯学習概論] 生涯学習と社会教育 (静岡県教育委員会社会教育課)		[生涯学習概論] 生涯学習と家庭教育 (漁田俊子)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)		
7月26日 (金)	[生涯学習概論] 社会教育の内容・方法と形態 (洪江かさね)		[生涯学習概論] 生涯学習関連施設の経営 (静岡市生涯学習推進課)	[生涯学習概論] 社会教育と社会教育行政 (文部科学省)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)		
7月29日 (月)	[生涯学習概論] 地域社会における学習支援システム (阿部耕也)		[生涯学習概論] 生涯学習と学校教育 (猿田真嗣)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)		静岡大学附属図書館6階会議室
7月30日 (火)	[生涯学習概論] 生涯学習情報と学習相談 (松永由弥子)	[社会教育計画] 学習相談の方法 (松永由弥子)	[社会教育計画] 調査の意義と内容 (阿部耕也)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)		
7月31日 (水)	[社会教育計画] 社会教育計画 (洪江かさね)		[社会教育計画] 社会教育の広報・広聴 (河井孝仁)	[社会教育計画] 現代的課題と社会教育 (皆田 潔)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)		
8月1日 (木)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)	[社会教育計画] 社会教育の対象の理解と構造化 (野島正也)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)	(宿泊) 国立中央青少年交流の家 <御殿場市>
8月2日 (金)	[社会教育演習] 野外活動		[社会教育計画] 学習情報の提供システム (桑村佐和子)		[社会教育特講] 青少年の学校外教育の組織化 (白木賢信)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)	
8月3日 (土)	[社会教育特講] 大学の機能開放・拡充 (阿部耕也)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)					
8月5日 (月)	[社会教育特講] インタビューの手法 (平岡義和)	[社会教育特講] 地域の環境計画 (水谷洋一)	[社会教育特講] 少子高齢化社会とNPO (日詰一幸)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)		静岡大学附属図書館6階会議室
8月6日 (火)	[社会教育特講] 地元学と地域づくり (皆田 潔)	[社会教育特講] 生涯スポーツの理論と実践 (村田真一)	[社会教育計画] 社会教育施設の事業と経営 (山田和芳)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)		静岡大学／ふじのくに地球環境史ミュージアム
8月7日 (水)	[社会教育計画] 社会教育計画の評価 (原 義彦)		[社会教育特講] 世界遺産とジオパーク (小山真人)	[社会教育特講] 少子超高齢社会における地域活性化 (須藤 智)			静岡大学附属図書館6階会議室

月/日	午前		午後			夜間	会場
	8:50~10:20	10:30~12:00	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40	19:00~20:30	
8月8日 (木)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)	[社会教育特講] 地域課題とまちづくり (宇賀田栄次)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)	(宿泊) らいずや <南伊豆町>
8月9日 (金)	[社会教育特講] キャリア教育と生涯学習 (宇賀田栄次)		[社会教育特講] 人口減少地域の課題と可能性 (深澤準弥・山口一実・荒武優希)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)	
8月10日 (土)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)						
8月14日 (水)	[社会教育特講] 多文化共生と教育 (宇都宮裕章)	[社会教育特講] 欧米の社会教育 の歴史 (菅野文彦)	[社会教育特講] 博物館と文化活動 (金子 淳)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)		静岡市産学交流 センター7階大会 議室
8月15日 (木)	[社会教育特講] リスクマネジメントと防災教育 (前田恭伸)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)		静岡大学附属図 書館6階会議室
8月16日 (金)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・皆田)		
8月17日 (土)	[社会教育演習] 成果報告会 (阿部・皆田)	閉講式					静岡市産学交流 センター7階大会 議室

2019年度静岡大学公開講座

静岡大学では、地域社会に対し広く学習の機会を提供することを目的として、1978（昭和53）年より公開講座を実施しています。

今年度の公開講座は、下の表のとおり、4月から翌年3月にかけて多彩な14講座を実施しています。担当教職員それぞれの専門分野を生かした、特色ある講座となっています。

静岡と浜松にキャンパスをもつ静岡大学の特徴を生かし、静岡キャンパス、浜松キャンパス、農学部附属地域フィールド科学教育研究センター藤枝フィールドで開講します。学外では静岡市葵生涯学習センター、プラサヴェルデ（沼津市）などが会場となっています。

講座名	講師	日時	会場	対象	各日 定員	受講料	主催
日本人の知らない中国 [全11回]	人文社会科学部准教授・張 盛開 早稲田大学非常勤講師・張 剣波 人文社会科学部教授・埋田重夫 静岡大学非常勤講師・金 小賢 大学教育センター准教授・翟 勇 人文社会科学部教授・南 富鎮 朝日テレビカルチャー講師・王 元武 静岡大学非常勤講師・盧 思 地域法実務実践センター教授・朱 曄 静岡大学非常勤講師・周 佩芳	4/13、5/18、6/3・22、 7/13・27(土)13:00～ 14:30、15:00～16:30 6/3のみ(月)18:00～ 19:30	静岡キャンパス	一般市民	60	無料	人
安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル（中級編）	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング日本代表選手・小泉 成行	5/6(月)9:30～16:30	屋外（静岡市 郊外）	過去に初級編を受講した方、又は地形図の基礎知識がある登山経験者で7km程度を無理なく歩ける方	20	3,600	教
私のミカン～ミカンの通年管理教室～ [全5回]	技術部技術専門職員・成瀬博規 技術部技術職員・周藤美希 農学部准教授・八幡昌紀	5/21、7/2、9/3、11/12、 3/3(火)13:30～15:30	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	一般市民	10	10,000	技

講座名	講師	日時	会場	対象	各日定員	受講料	主催
紅茶作りに挑戦しよう	農学部教授・稲垣栄洋 技術部技術専門員・西川浩二 技術部技術専門職員・成瀬和子	7/25(木)13:00～16:00	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	小学生とその保護 者、一般市民	20	1,000	〔技〕
作って学ぶ、工学部の化学実験	工学部教授・植田一正 技術部技術専門職員・草薙弘樹 技術部技術職員・早川敏弘	7/27(土)または7/30 (火)いずれも14:00～ 17:00	浜松キャンパス	中学生・高校生(保 護者同伴可)	20	無料	〔工〕
遺伝子の世界を見てみよう [全2回]	グリーン科学技術研究所准教授・道羅英夫 技術部技術職員・森内良太 グリーン科学技術研究所特任助教・兼崎友 技術部技術職員・山本千尋	8/7(水)10:00～17:00、 8/8(木)10:00～15:00	静岡キャンパス	県内高校生	20	無料	〔グ〕
体験!大学の化学実験[全2回]	グリーン科学技術研究所教授・近藤 満	8/17(土)・18(日) 10:00～16:00	静岡キャンパス	中学生・高校生(保 護者の同伴可能)、 理科教育の関係者	30	無料	〔グ〕
中高生のための心理学講座 ～身近なリスクの心理学～	人文社会科学部教授・橋本 剛 人文社会科学部教授・幸田るみ子 人文社会科学部助教・高岡しの	8/20(火)9:30～12:30	静岡キャンパス	中学生・高校生	120	無料	〔人〕
愛おしさから読み解くくだものの 多様性～園芸と民藝の融合～ [全3回]	農学部准教授・松本和浩	9/20、10/11、11/22 (金)14:00～16:30	健康文化交流 館「来・て・こ」	くだものの栽培、利用、 消費に興味があり、多 様な遺伝資源を使って 地域を活性化したい、 あるいはコミュニケー ションを活発化したい と考えている市民、学 生、生産者、企業人 など	60	無料	〔農〕
邦人作品の調べ ～明治から現代にかけて～	教育学部講師・服部慶子 教育学部准教授・長谷川慶岳 教育学部准教授・長谷川 慎 教育学部非常勤講師・大石陽介	9/28、11/23(土) 14:00～16:00	静岡市葵生涯 学習センター (アイセル21)	一般市民・生徒・ 教員	200	無料	〔教〕
静岡大学キャンパスミュージアム公 開講座2019 [全5回]	理学部准教授・徳岡 徹 人文社会科学部教授・戸部 健 理学部准教授・石橋秀巳 理学部非常勤講師、ふじのくに地球環境史 ミュージアム教授・岸本年郎 技術部・宮澤俊義	10/5・12・19・26、11/2 (土)10:00～12:00	静岡キャンパス	一般市民、学生、 小中高生(中学生 以下は保護者同伴)	20	無料	〔キ〕
静岡の自然と文化 ～東部・伊豆半島を中心に～	地域創造学環教授・小山真人 静岡大学名誉教授・白井嘉尚	10/12(土) 13:00～16:25	プラザヴェルデ	一般市民	80	無料	〔地〕
市民社会と法 [全5回]	地域法実務実践センター特任教授・中 村和夫 地域法実務実践センター教授・板倉美 奈子 地域法実務実践センター教授・朱 嘩 地域法実務実践センター客員教授・上 原裕之 地域法実務実践センター教授・吉川真理	10/12、11/9、12/7、 1/11、2/8(土) 13:30～15:30	静岡市葵生涯 学習センター (アイセル21)	一般市民	30	無料	〔人〕
情報学部公開講座2019 学校におけるプログラミング教育 の意義と課題	情報学部助教・遠山紗矢香 情報学部准教授・福田直樹 情報学部教授・吉田 寛 情報学部教授・太田 剛	11/9(土)10:30～12:00	浜松キャンパス	興味のある方ならど なたでも	70	無料	〔情〕

〔主催欄凡例〕

〔人〕=人文社会科学部 〔教〕=教育学部 〔情〕=情報学部 〔工〕=工学部 〔農〕=農学部 〔地〕=地域創造教育センター
〔キ〕=キャンパスミュージアム 〔グ〕=グリーン科学技術研究所 〔技〕=技術部

地域創造学環部門の上半期（4月～9月）事業報告

静岡大学地域創造学環の「フィールドワーク」の授業では、地域と連携しながら地域課題の解決に取り組んでいます。2019年度前学期は静岡県内14箇所で、地域の方々と交流しながら、地域の課題や資源を発掘

し、課題解決のための提案や実践を行いました。

静岡大学 地域創造学環ホームページ
<http://www.srd.shizuoka.ac.jp/>

【2019年度前学期フィールドとテーマ】

フィールド	テーマ
静岡市 清水港周辺地域	浜田・清水地区の情報発信とおもてなしによる交流・活動人口の増加
静岡市 庵原地区	地域資源を活かしたスポーツと食による「健康長寿のまちづくり」
静岡市 駒形通四丁目商店街	駒形通四丁目商店街のにぎわい創出
静岡市 浅間通り商店街	浅間通り商店街のにぎわい創出
焼津市 浜通り	地域住民と高校生との交流に基づいた地域づくり活動
浜松市 浜松文芸館 (公益財団法人 浜松市文化振興財団)	若者の文芸離れを食い止めよう
浜松市 佐久間町	商品開発で交流の環づくり
田園空間博物館 南遠州とうもろの里	子どもを呼び込むための環境づくり
御前崎市	御前崎スポーツ振興プロジェクトスポーツによる交流人口の拡大と産業振興の推進
松崎町	①なまこ壁が残る松崎町商店街のにぎわい創出 ②防災と観光の両立
東伊豆町	新しい観光スタイルの発掘・創出プロジェクト
伊豆半島ジオパーク	①伊豆半島ジオパークにおける環境保全と防災対策 ②伊豆半島ジオパークの持続可能な開発と教育 (SDGs / ESD) の推進
県営団地	県営住宅団地における居場所づくりと地域福祉資源のネットワーク
学内地域連携拠点	静大発 地域と大学の連携を広めよう!

各フィールドの取り組みの紹介

■ 浜松文芸館

地域における〈知〉の拠点としての大学には多くの期待が寄せられています。美術館・博物館・文学館等の文化施設との連携による文化振興もその一つですが、地域創造学環では、浜松市文化振興財団の協力を得て、2017年より浜松文芸館を舞台にしたフィールドワークを実施してきました。

このフィールドワークでは学生の若い感覚を活かし、「若者の文芸離れをくい止めよう」をテーマに掲げています。2017年度は新しいポスターとチラシを作

成し、2018年度は高校生を対象とした「GOGO俳句」(合作俳句)や小学生を対象とした「文字モジ探検隊」(物語創作)のイベントを開催しました。本年度は7月14日に「きらきら☆575」という小学生のための七夕句会を行い、俳句を通して当館に親んでもらうことができました。

浜松文芸館のフィールドワークでは、こうした文化活動を通じて当館の活性化を図るとともに将来の地域文化の担い手となる学生たちの育成に努めています。



小学校での宣伝活動



俳句イベントの様子

■ 田園空間博物館 南遠州とうもんの里

掛川市にある「田園空間博物館 南遠州とうもんの里」(以下、「とうもんの里」と明記)でのフィールドワークも4年目となりました。学生たちはNPO法人「とうもんの会」や地域住民の方々の協力を得ながら、「とうもんの里」に子どもたちを呼び込むための環境づくりに取り組んでいます。

昨年度は、学生たちが地元の竹で製作した遊具を使って子どもたちと遊んだり、道端に生えている植物を探して行う「ネイチャービンゴ」を行いました。また「とうもんの里」で見つけた動植物を絵に描いて、自分たちだけの図鑑をつくる「とうもん図鑑」という企画を学生たちが考案し、実施しました。今年度は、チョークを使って「とうもんの里」の壁一面にお絵かきをする「チョークアート」、自分で探した草花を貼り付けて絵を描く「草花アート」を実施しています。

こうした活動を通じて、子どもたちの笑顔でいっぱいの「とうもんの里」づくりに取り組んでゆきます。



チョークアート (6月23日)



草花アート (6月23日)

■ 伊豆半島ジオパーク (保全と防災)

伊豆半島ジオパークとは、伊豆半島の自然と地域社会のつながりを伝え、資源を保護する場所のことです。ジオパークでは、地域住民や観光客に地域の資産を深く理解してもらうことができ、地域の発展に役立てることができます。本フィールドワークは2017年10月からスタートし、ジオパークが定めた主要見学場所「ジオサイト」の価値・現状の理解やその環境モニタリング方策としてのセンサー開発を実施してきました。

環境負荷センサーとは、「Arduino」という安価な電子基板システムを利用し、超音波距離センサーで距離を計測し、その変化により通過人数を計測するものです。2017年度から開発を行い、昨年度には電力を外部から供給できないジオサイトでの設置を想定し、太陽光パネル及びモバイルバッテリーを搭載した環境負荷センサーを開発しました。



環境負荷センサーの様子

また、昨年度後半からはジオパークが取り組む防災教育の現状や課題についても学び、住民や観光客が使いやすい防災情報共有システムの開発に取り組んでいます。西伊豆町では、防災まち歩きを地域住民が実施しており、避難時に避難の妨げとなる危険箇所等の防災情報を集めてきました。今後、松崎高校と連携し、これらの防災情報をネット上で共有・常時更新できるシステムの構築を目指します。



防災情報共有ウェブサイトの様子
(URL:<https://chiiki-bosai.jp/hp/nishiizu>)

2018年度地域創造学環フィールドワーク報告会

2019年5月30日（木）、しずぎんホールユーフォニア（静岡市葵区）にて、2018年度静岡大学地域創造学環フィールドワーク報告会を行いました。

学生たちは、同年度に活動した静岡県内15箇所、17テーマの各フィールドにおける課題点の説明や解決に向けての進捗状況について発表しました。

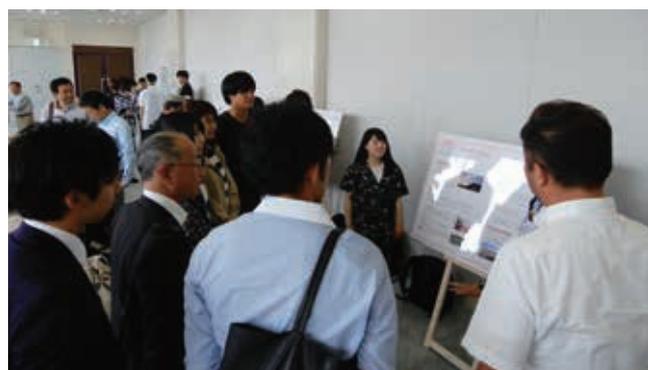
今年度の報告会では、新しい観光スタイルの提案として、その地域での季節行事の一環として多くの地元の方と観光客の方に参加していただいたライブペイン

トの事例や、中高生に地元の魅力と地域資源を活かした取り組みを知ってもらうために、その地域の郷土料理に着目し、食を通して学校教育や防災教育に展開していく事例が報告されるなど、1年間の活動を通して、学生たちの成長がうかがえました。

発表後のポスター展示では、フィールドワークでお世話になっている地域の方や学生らとの積極的な質疑応答がなされ、充実した報告会となりました。



各フィールドの発表



発表後のポスター展示

株式会社清水銀行との連携授業「地域創造特論Ⅱ」

清水銀行の全面協力のもと、「地域創造特論Ⅱ」を開講しました。この授業は、地域創造学環の学生が、同行の役職員から地方創生に向けた地方銀行の取り組み、県経済の現況などについて学ぶ授業で、今年で3年目を迎えました。今回は、授業の様子について、清水銀行ご担当者様より、文章をお寄せいただきました。

※

本講義は、学生の金融・経済に関する実践的な知識の習得に資するため、清水銀行の役職員が担当し、観光振興等、地域の課題に取り組む地方銀行の姿や地域とのつながりを学生たちに伝えることによって、地域の将来を担う若手人材の育成を目指します。清水銀行グループ役職員が地域経済と地域金融機関の役割について経験をもとにわかりやすく解説することで、将来、地域が抱える様々な問題と向き合い、地域活性化に取り組む人材を増やすことを目指しております。

学生の皆さまからは「地方に関わるには行政でないといけないと考えていたが、本講義で地方創生には多くの企業や人が関わっていることを知ることができた」といった声や「本講義を受け、在学中から、柔軟な思考や幅広い知識を身につけたいと思った」とい

った声が届いております。地域社会と地元企業は密接に関係していることや、社会の抱える様々な問題を解決していくために自ら学び得た知識や思考が必要となることを学生の皆さまに伝えられているのだと実感し、本講義を開講する意義や、やりがいを感じております。また、静岡大学さまには打ち合わせの段階からご要望や情報提供を多くいただき、教員の皆さまの熱意に身が引き締まる思いです。

今後も本講義を通して、学生の皆さまには複眼的な視点から「地方創生」をとらえる力を養っていただきたいと考えております。



講義の様子



静岡大学では、2016年度から開始した全学学士課程横断型教育プログラム「地域創造学環」における地域との繋がりや蓄積したノウハウを、地域創造学環を履修する学生以外の学部生に対して広く公開することにより、学部学生が所属する学部や学科等の授業科目にとどまらず、自身の専攻（主専攻）における専門性の視点から地域課題の解決に取り組む人材の育成を目指した「地域づくり副専攻」を2017年度から実施しています。

地域づくり副専攻 修了証授与式を行いました

地域づくり副専攻を履修する1期生30名が、同副専攻の教育プログラムを修了し、2019年6月5日（水）と6日（木）に浜松及び静岡キャンパスで開催された修了証授与式において修了生に修了証が授与されました。

授与式では修了生のほか、村本定則教務課長/教育連携室長による開式の挨拶の後、丹沢教育担当理事から第1期生の修了にあたり、静岡大学がSDGsや地域のサステナビリティに貢献するため、この副専攻プログラムが大きな意味を持つこと、卒業後も引き続き地域に貢献してほしい旨の期待が込められた祝辞がありました。

静岡キャンパスでは、修了生を代表して、人文社会科学部社会学科の中村遥さんから、履修のきっかけや学びによる気付きなどが語られ、「地域づくり副専攻での学びや経験を活かし、静岡をより良いまちにしていくために貢献したい」との決意が述べられました。



修了証授与式 (6月6日: 静岡キャンパス)



修了証授与式記念撮影 (6月6日: 静岡キャンパス)

2019年度 地域づくり副専攻がスタートしました

2019年度の地域づくり副専攻がスタートしました。今年度は、静岡、浜松の両キャンパス合わせて、56名の学生たちが地域づくり副専攻を履修しています。

自身が所属する学部や学科等における専門性に加えて、「地域づくりフィールドワーク」や「地域連携型プロジェクトセミナー」などの講義・実習・演習科目の学修を通じて、地域社会の課題に向き合い、その解決に資する知識や技能を身につけ、地域社会に貢献できる人材に育ててゆくことを期待しています。



地域づくり副専攻ガイダンス (4月10日: 静岡キャンパス)

静岡大学地域づくり副専攻ホームページ

<http://www.srd.shizuoka.ac.jp/sub-major/>

地域人材育成・プロジェクト部門の上半期事業報告

地域連携応援プロジェクト

2011年度より「地域連携応援プロジェクト」として、本学学生・教職員が主体となり、すでに地域団体や自治体等と協働で取り組んでいる、または、新たに取組もうとする地域の活性化につながる活動を学内で公

募し、支援しています。2019年度は22件の応募があり、うち15件を採択しました。年度末には成果報告書を刊行し、学内外に広く配布する予定です。

採択したプロジェクト一覧

部局	代表者	プロジェクト名
教育学部	池田 恵子	グローバル化する静岡～国際交流学習の効果の定着～
教育学部	川原崎 知洋	静岡県を訪れる観光客の観光体験を向上させるデザイン実践～焼津さかなセンターと静岡浅間通り商店街を事例として～
教育学部	小林 朋子	子どものレジリエンス（精神的回復力）を育て、地域の小中高校をつなげるハブとなる授業実践
教育学部	塩田 真吾	静岡県内の特別支援学校向け「トラブルを防ぐためのネットスキル講座」プロジェクト
教育学部	高橋 智子	共生社会の実現に向けた就労系障害福祉サービスとの連携による「ものやこと」のデザインプロジェクト
教育学部	亘理 陽一	西伊豆町英語教育推進支援事業
情報学部	杉山 岳弘	「西浦の田楽」の継承の大切さを伝える絵本制作プロジェクト
情報学部	田中 宏和	小学生へのプログラミング教育支援事業
情報学部	田村 敏広	絵本読み聞かせ会による地域活性化と絵本の可能性発見プロジェクト
工学部	立岡 浩一	浜松市と大学との連携事業～大学生による講座～（小学生児童を対象とした理科工作教室）
工学部	能見 公博	静岡大学衛星 Stars-AO (AOI) を用いた地域の宇宙分野の普及啓発および理解推進
農学部	松本 和浩	伊豆地域での青パイヤ特産化に向けた果実および栽培特性調査と加工品利用のレシピ開発
地域創造学環・防災総合センター	岩田 孝仁	静岡市清水区小島における小学生に向けた防災教育活動
技術部	井上 直己	科学講座を通じた地域活性化プロジェクト in 吉田町
技術部	楠 賢司	浜松城跡24次発掘調査で出土した城郭岩石の採取地推定

地域課題解決支援プロジェクト

地域からの課題提案を受け、学生・教職員と地域住民が協働して解決支援を試みる「地域課題解決支援プロジェクト」も7年目に入っています。本年度上半期に取り組んだ課題の進捗状況について報告します。

■ 松崎町

松崎町では課題提案を受け、「商店街の魅力発掘とにぎわい創出」「防災と観光の融合」のテーマに分かれ、地域創造学環フィールドワークを実施しています。商店街グループでは5月25～26日、6月13～15日、7月20～21日にフィールドワークが行われ、松崎高校と

連携しながら課題に取り組んでいます。



松崎高校文化祭での共同事業

東伊豆町

東伊豆町では課題提案を受け、NPO法人ローカルデザインネットワークを受入れ母体として、「新しい観光スタイルの発掘」をテーマに4月13～14日、6月8～9日、7月20～21日にフィールドワークが行われました。東伊豆町商工会青年部、空き家改修プロジェクトを展開する芝浦工大生との連携・交流を図り「東伊豆未来会議」に参加するなど課題に取り組んでいます。



東伊豆未来会議

南伊豆町

南伊豆町では第2期公募への課題提案を契機に伊浜地区での活動を始め、静岡大学地域人材育成研修会「ご当地カルタを作ろう」の取り組みを継続しています。(地域人材育成事業参照)。また、9月15日には、地域活性化イベント「トコリンピック in 伊浜」にも学生・教職員が参加しました。



第2回トコリンピック表彰式

静岡大学創立60周年記念事業を継承した連携講座

1 静岡大学・読売新聞連続市民講座「令和を生きる～新時代への展望」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	7/6(土)	自然災害と防災対策	原田賢治(静岡大学防災総合センター准教授)	134
2	8/17(土)	日常と非日常からみることと脳の科学	宮崎 真(静岡大学情報学部教授)	156
3	9/7(土)	環境は持続可能か?～微生物による環境浄化の開発～	新谷政己(静岡大学工学部准教授)	115
4	10/5(土)	スポーツによる地域の活性化	村田真一(静岡大学地域創造学環准教授)	—
5	11/2(土)	人工衛星データが語る富士山・伊豆半島周辺の動き	三井雄太(静岡大学理学部講師)	—

■会場：あざれあ(静岡県男女共同参画センター)6階大ホール

■参加費：無料

■連携先：読売新聞東京本社静岡支局

2 静岡大学・中日新聞連携講座「静岡大学が拓く新たな地平」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	10/1(火)	素数ゼミの謎～進化物語の科学～	吉村 仁(静岡大学工学部教授)	—
2	10/29(火)	浜松発!情報科学的二輪車研究&センチメートル級!高精度衛星測位研究開発都市プロジェクト	木谷友哉(静岡大学情報学部准教授)	—
3	11/12(火)	リスクをどう教えるか～SNSのリスクから子どもを守る～	塩田真吾(静岡大学教育学部准教授)	—
4	12/10(火)	目に見えないものを加工する ～ナノスケールに挑む顕微鏡技術～	岩田 太(静岡大学工学部教授)	—
5	1/21(火)	電気計測標準について(量子標準の基礎)	小野行徳(静岡大学工学部教授)	—

■会場：静岡大学浜松キャンパス 附属図書館浜松分館(S-Port)3階大会議室

■参加費：無料

■連携先：中日新聞東海本社

地域連携セミナー

「学んで楽しい！—大学で学ぼう—」

障害者の就労を支えるためには、余暇の充実や生涯学習が重要であり、近年、大学での実践が多数報告されています。大学が生涯学習の機会を提供することで、学びの環境づくりと効果的な支援を提供することができます。

2019年度第1回

- ・日程：2019年6月23日（日）
- ・会場：静岡大学学生会館
- ・プログラム：
 - [演習] アイスブレイク—学びのなかま—
 - [映画鑑賞] 「イーちゃんの白い杖」
- ・参加対象：静岡市と周辺の地域の障害のある社会人
- ・参加費：無料
- ・参加者数：41人

公開講演会

「特別支援学校学習指導要領等の改訂のポイント—学びの連続性、自立と社会参加をキーワードに！—」

2020年度から始まる新学習指導要領について、特別支援学校学習指導要領等の改訂のうち、特に学びの連続性や自立と社会参加に関わるポイントについて解説しました。

- ・日時：2019年6月23日（日）13:30～15:00
- ・会場：静岡大学学生会館
- ・講師：山元 薫（静岡大学教育学部准教授）
- ・対象：一般市民、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員、学生
- ・参加費：無料
- ・参加者数：35人

地域人材育成研修事業

「伊浜でカルタ！（春編・夏編）」

伊浜に暮らすみなさんが伊浜の好きな場所や思い出の場所を調べ、良いところ、人に紹介したいこと、後世に残したい光景を写真に収め、地域でその財産を共有することを目的として、昨年度に引き続き実施しました。

季節ごとのカルタづくりを通して四季の風景を撮り溜め、伊浜のよさを地元に住む人々が実感するという地域づくりの目標に向けて、これからも定期的に取り

組んでいきます。

[春編]

- ・日時：2019年6月30日（日）11:00～16:00
- ・内容：春版の絵札・読み札の作成と、冬版カルタの選考
- ・参加者数：16人

[夏編]

- ・日時：2019年8月18日（日）10:30～17:30、19日（月）6:30～12:00
- ・内容：夏の伊浜区取材と夏版絵札・読み札の作成および春版カルタの選考
- ・参加者数：24人

[共通]

- ・会場：伊浜山村活性化支援センター
- ・参加費：無料



地域連携応援プロジェクト

「地域連携報告会」

静岡大学は一昨年「地域志向大学」宣言をし、地域の皆様と連携・協働をこれまで以上に推進することとしました。キャンパスのある地域だけでなく県内各地域で展開する大学—地域連携の取り組みならびに市民の方々が参加できる大学開放事業を紹介しました。

- ・日時：2019年9月18日（水）14:30～15:30
- ・会場：藤枝市産学官連携推進センター
- ・プログラム：
 - ①「静岡県中部での大学連携の取り組み」報告：川原崎知洋（静岡大学教育学部准教授）
 - ②「浜松市天竜区佐久間町フィールドワークの活動報告」報告：木下湧太（静岡大学地域創造学環4年）、皆田 潔（静岡大学地域創造教育センター准教授）
- ・参加費：無料
- ・参加者数：13人



市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放するものです。単位の認定はありませんが、入試なし、受講資格不要、簡単な手続きで受講できます。正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。

2019年度前学期・通年の開講科目数・受講者数の状況は次のとおりです。

開講科目数			受講者数		
静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計	静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計
169	26	195	135	23	157

(1名は両キャンパスで受講のため、静岡・浜松それぞれでカウント)

企画協力事業

講座企画

「吉田町シニアカレッジ」

吉田町教育委員会が実施する「吉田町シニアカレッジ」は、新たな知識の習得、仲間づくり、社会活動等により、シニア世代がいきいきと充実した生活を送ることができる学習機会の提供を目的としています。静岡大学も講師派遣等において協力しています。

[第15回一般教養講座]

・日時：2019年8月28日（水）10:00～12:00

「駿河湾地震説から45年、南海トラフ巨大地震はどこまでわかったか」

・講師：生田領野（静岡大学理学部・防災総合センター准教授）

・会場：吉田町中央公民館

・受講者数：25人

後学期事前説明会を県内3カ所で開催しました。

[藤枝会場]

・日時：9月18日（水）13:30～14:30

・会場：藤枝市産学官連携推進センター

[静岡会場]

・日時：9月19日（木）14:00～15:30

・会場：静岡大学静岡キャンパス 事務局別館1A会議室

[浜松会場]

・日時：9月20日（金）14:00～15:30

・会場：静岡大学浜松キャンパス 附属図書館浜松分館（S-Port）3階会議室（南・北）

2019年度企画実施委員会

当センターには、「企画実施委員会」が組織されています。地域連携・課題解決に関する事項や全学公開講座の企画・立案・実施に関する事項、その他大学開放および地域人材育成に関する事項について検討しています。今年度の委員は以下のとおりです。

阿部 耕也 地域創造教育センター長
 江口 昌克 地域創造教育センター教授
 皆田 潔 地域創造教育センター准教授
 岸本 道明 地域創造教育センター特任教授
 笠井 仁 人文社会科学部教授
 渋江かさね 教育学部准教授
 酒井三四郎 情報学部教授
 三重野 哲 理学部教授
 戸田三津夫 工学部准教授

水永 博己 農学部教授
 水谷 洋一 地域創造学環教授
 松尾由希子 教職センター准教授
 村本 定則 学務部教育連携室長

地域と大学 第39号

発行日——2019年9月30日

発行——静岡大学地域創造教育センター

編集——大谷悦子

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
 （事務局別館2階）

TEL: 054-238-4817 FAX: 054-238-4295

E-mail: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

URL: www.lc.shizuoka.ac.jp/

（事務局）学務部教育連携室 ☎ 054-238-4055